

2013 夏山セミナー実技 第3回 芦屋ロックガーデン地獄谷

日程：2013年07月20日(土) [日帰り]

メンバー19人

天候：晴れ時々曇り

*****コースタイム*****	*****コース状況/その他周辺情報*****
阪急芦屋川駅 9:00 (集合) 近くの公園 9:30 地獄谷 ゲートロック前 出発 10:20 A懸 11:15 ピラーロック 11:35 (アイゼン装着) 昼食休憩 12:10 太陽と緑の道 合流 12:35 荒地山 山頂 13:20 岩梯子 取りつき 13:35 高座谷 分岐 14:10 高座谷 堰堤下 14:45 (いったん解散) ミーティングの後、16:00頃 阪急芦屋川駅着	芦屋ロックガーデン地獄谷は、経験者コースになっている。訪れる人は多いが、基本的には、滝越えと、ガレた岩稜帯の遡行。三点支持などの基本的な登山技術や、滑らない靴、ヘルメットなどの装備があることが望ましい。滝越えには巻き道もたくさんある。 稜線に出てから、ピラーロックのあたりは遮るものがないため、この時期は非常に暑い。荒地山から岩梯子を降りるのもかなり危険。気が付いたら、あっちこっちすりむいていた。岩梯子を下る際、一部の木製の梯子が崩れて使い物にならなくなっていた。とにかく、降りるときに、大きな段差を飛び降りたりしないこと。足場をしっかりと確保して、一步一步確実に降りることが肝心。

写真：



今日は、夏山セミナー実技の最終日。岩稜登行の仕方や、アイゼン歩荷などを行う予定。9時頃の阪急芦屋川駅前は、団体さんでごった返していた。



いつもの公園で、今日の説明と準備運動。今日は、先週に比べるとまだ涼しい。今日の設定は、男女とも10KG程度。みんな、楽勝ムード！？



地獄谷入口。崩落したゲートロック前で、三点支持の説明を受けてから、地獄谷に突入！



初めて岩稜登行をする人も多く、最初はなかなか三点支持で登れない。足が滑りそうでひやひやもの。



経験者は、どんどん岩場を登っていく。木陰と水辺でとても涼しい。



苔のついた滑りやすい岩を登っていく。



ちょっと休憩。涼しいのでほっとする。



だんだん岩稜登行にも慣れてきた。核心部の二段の滝も難なくクリア。



ジュラルミン製の梯子のあるところも、梯子を使わずに滝の横を登る。水がかかって、気持ちいい！



今日の小便滝は、勢いよく流れていた。



水辺を抜けて、ガレたゴルジュ帯を進む。



やっとA懸垂岩の下に出た。日なたなので暑い～



そのまま、斜面を登って、ピラーロックのある稜線に出る。



素晴らしい景色が広がっていたが、直射日光で暑い～



歩荷の荷物が邪魔な廊下状のところ。



荷物でふらついたら、ちょっと怖い棚状のところ。



再び、アイゼンを装着してピラーロックめぐり。



アイゼンをつけていないと、滑る滑る～



万物相の上で、しばし眺めを楽しむメンバー



今日は、空気が澄んで遠くまで景色が見渡せた。でも、暑い～



やっと昼食休憩に入った。



リーダーからの差し入れ。凍らせたグレープフルーツ。おかげで疲れが取れました。CL、ありがとう



昼食が終わり、荒地山に向けて出発！



やっと、到着しました。荒地山山頂。ここから、急斜面の岩下りが待っている。



岩梯子方面に進む。



岩稜帯に入った。



ほぼ垂直な岩を、下降していく。ここは、梯子があつたが、この梯子もかなり危険。



岩場の急下降が続く。



やっと、鉄塔まで降りてきた。



今、降りてきた稜線が見えている。よくぞ、無事に降りられたものだ！



高座谷方面に向かう。



高座谷堰堤下に降りてきた。ここで、いったん解散し、今日の反省&修了山行の打ち合わせをした。

*** 感想／記録***

今日は、夏山セミナー最後の実技。終了山行にむけて、岩稜帯の歩行訓練を行なう。
本番の白馬行もまじかということで、今日は歩荷の設定も軽めにして、無事にトレーニングを終えることを目標に訓練を開始した。
先週とはうってかわって気温もあまり高くなく、荷物も軽かったので、皆の足取りも文字通り軽い。
芦屋地獄谷は、経験者向けコースだが、みな難なく登っていく。水辺の谷廻りは、マイナスイオンたっぷりで、気持ちよく、あっという間にA懸垂岩の下までたどり着いた。
ここからが地獄だった。稜線上の、照りつける太陽のせいで気温がどんどん上がってくる。さっきまでとはうってかわって、みな足の取りが重くなった。
やっとたどりついたピラーロックもカンカン照り。乾燥した砂地が暑さを倍増させる。アイゼントレーニングを終えて木陰でほっとしたのもつかの間、荒地山までの暑い登りでくたくた。そして、息の抜けない岩梯子付近の岩稜下降。気が付くと、あちこちぶつけて細かい傷がたくさんできていた。
それでも全員無事に高座谷まで降りてきて、今日のトレーニングは終了。お疲れ様でした！
あとは、終了山行を残すのみとなった。